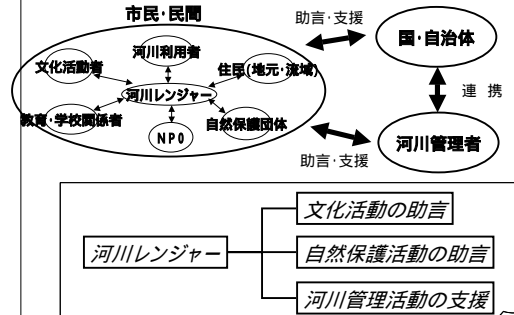


計画策定

5.1.2 情報の共有と公開、住民との連携・協働、関係団体・自治体・他省庁との連携 検討

河川レンジャーの試行・検討



河川環境

河川環境

これまでの河川整備

洪水氾濫頻度の減少

昭和40年

昭和45年



昭和40年 豊中市利倉地区

昭和45年 豊中市利倉地区

これまでの河川整備

多量の水利用

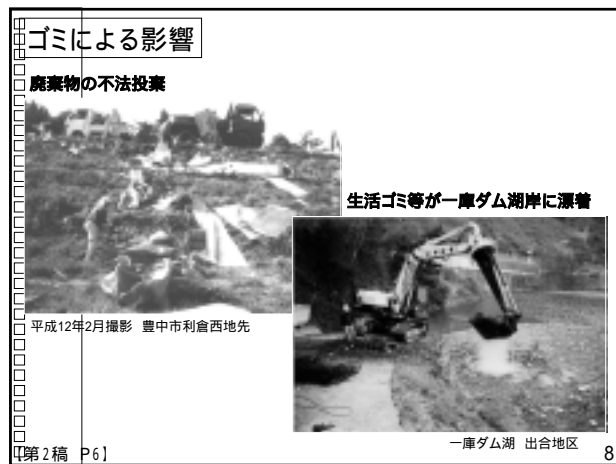
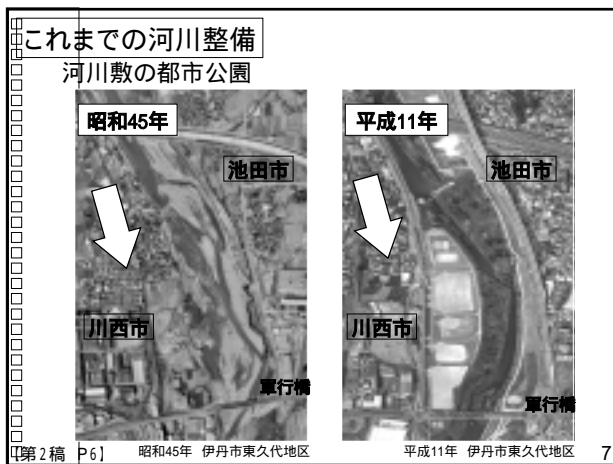
一庫ダム湖周辺

阪急日生ニュータウン

一庫ダム



平成15年3月撮影 川西市美山台地区



河川環境(整備方針)

今後の河川整備は、

- ・水辺にワンド、たまり
- ・水位の変動による冠水・攪乱域
- ・変化に富んだ地形
- ・多様な生態系

が形成されていた頃の
河川環境を**強く意識**

[[第2稿 P18]] 9

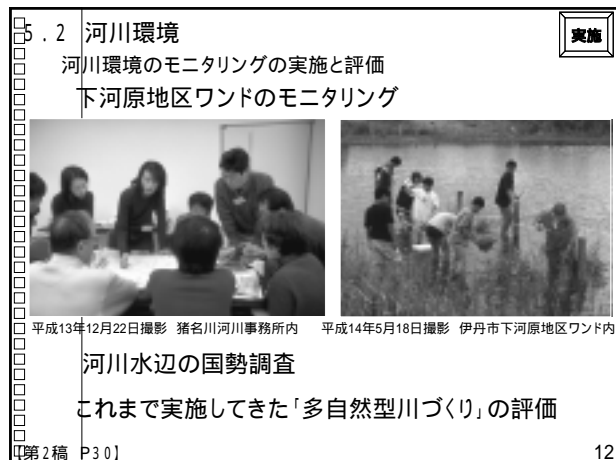
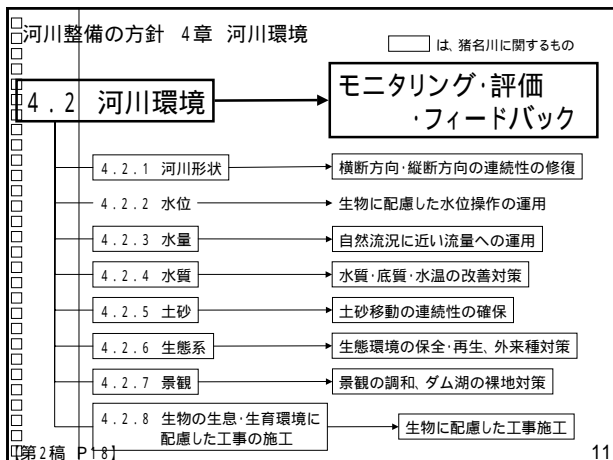
河川環境(整備方針)

河川環境を保全・再生していくに際しては、人工的な改変によって川をかたち造るのではなく、

『川が川をつくる』

のを手伝うという考え方を念頭に実施

[[第2稿 P18]] 10

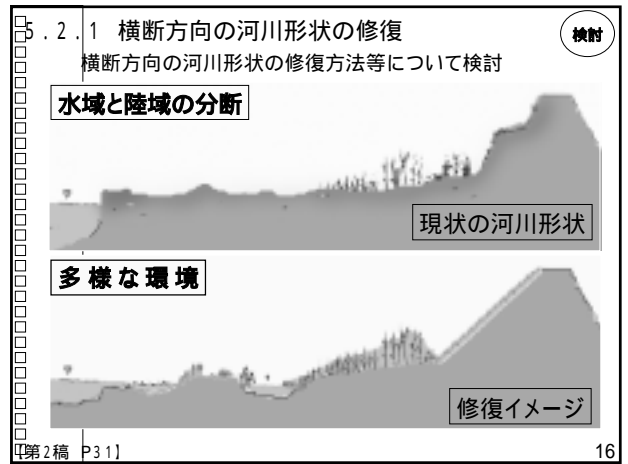
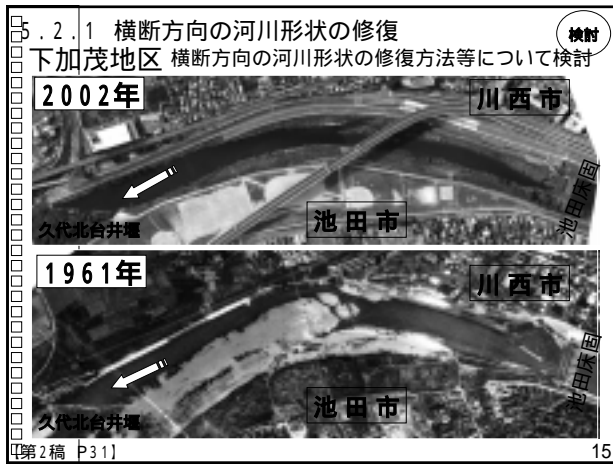
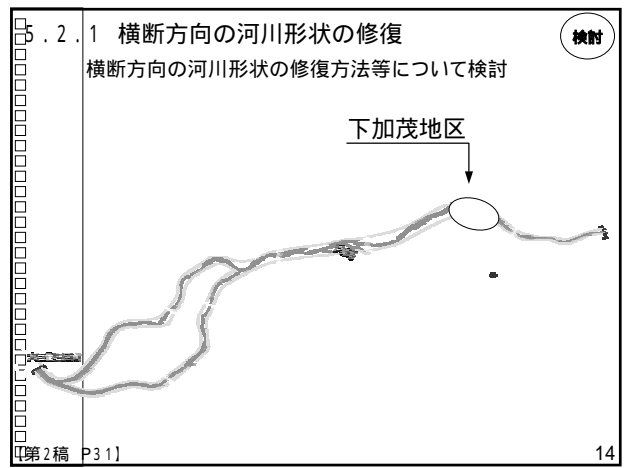


河川整備の方針 4章 河川環境

4.2 河川環境

- モニタリング・評価・フィードバック
- 4.2.1 河川形状
 - 横断方向・縦断方向の連続性の修復
- 4.2.2 水位
 - 生物に配慮した水位操作の運用
- 4.2.3 水量
 - 自然流況に近い流量への運用
- 4.2.4 水質
 - 水質・底質・水温の改善対策
- 4.2.5 土砂
 - 土砂移動の連続性の確保
- 4.2.6 生態系
 - 生態環境の保全・再生、外来種対策
- 4.2.7 景観
 - 景観の調和、ダム湖の裸地対策
- 4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工
 - 生物に配慮した工事施工

〔第2稿 P19〕 13



5.2.1 縦断方向の河川形状の修復

魚類等の遡上・降下に配慮した構造検討

事例(施工前)



境川水系融川 いたち川・柏尾川合流点床止


〔第2稿 P31〕 19

検討

5.2.1 縦断方向の河川形状の修復

魚類等の遡上・降下に
配慮した構造検討

事例(施工後)



魚が遡上している

境川水系融川 いたち川・柏尾川合流点床止

〔第2稿 P31〕 20

検討

5.2.1 縦断方向の河川形状の修復

魚類の遡上・降下に配慮した方策を実施の可否も含めた検討

事例(青野ダムの魚道)



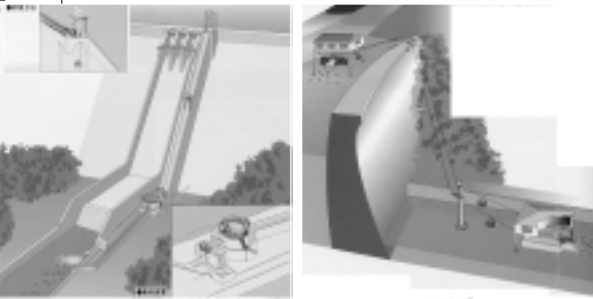


〔第2稿 P31〕 21

検討

5.2.1 縦断方向の河川形状の修復

魚類の遡上・降下に配慮した方策を実施の可否も含めた検討



インゲライン式

リフト式

〔第2稿 P31〕 22

検討

河川整備の方針 4章 河川環境

4.2 河川環境

- 4.2.1 河川形状 → 横断方向・縦断方向の連続性の修復
- 4.2.2 水位 → 生物に配慮した水位操作の運用
- 4.2.3 水量 → 自然流況に近い流量への運用
- 4.2.4 水質 → 水質・底質・水温の改善対策
- 4.2.5 土砂 → 土砂移動の連続性の確保
- 4.2.6 生態系 → 生態環境の保全・再生、外来種対策
- 4.2.7 景観 → 景観の調和、ダム湖の裸地対策
- 4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工 → 生物に配慮した工事施工

□ は、猪名川に関するもの

モニタリング・評価・フィードバック


〔第2稿 P19〕 23

5.2.3 水量


水位変動や攪乱の増大を図る試験放流を実施、適切な運用の検討

高山ダム攪乱放流状況 ダム放流量 25m³/s (平成14年6月11日実施)

放流前

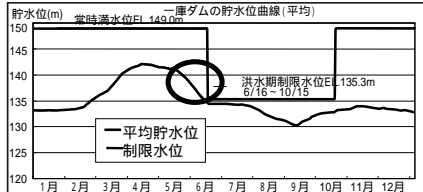


放流後



平成14年6月撮影

攪乱放流操作の(例)



貯水位(m) 常時貯水位EL.149.0m

一庫ダムの貯水位曲線(平均)

平均貯水位

制限水位

洪水期制限水位EL.135.3m

谷/16 = 107/16

〔第2稿 P32〕 24

検討

5.2.3 水量

河川環境上必要な水量を検討、必要な諸調査を実施

三ヶ井井堰付近の流況

濁水時



平成6年8月31日撮影 伊丹市北河原地先

通常時



平成13年5月7日撮影 伊丹市北河原地先

〔第2稿 P 32〕 25

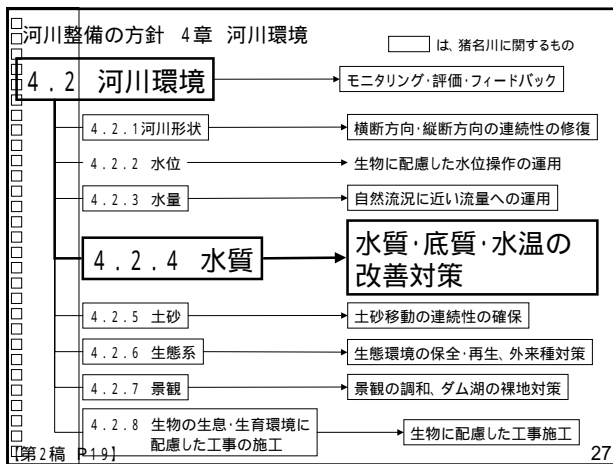
5.2.3 水量

河川環境上必要な水量を検討、必要な諸調査を実施

具体的検討手法

- 維持流量把握のための諸調査の実施
- 維持流量の検討
- 維持流量の増加による環境改善の予測

〔第2稿 P 32〕 26



5.2.4 水質

実施

水質に関する取り組み


- 啓発活動
- 水物質循環の調査
- 水質監視の強化

〔第2稿 P 32〕 28

5.2.4 水質

琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（仮称）設立の検討

水質汚濁防止連絡協議会



琵琶湖・淀川流域
水質管理協議会（仮称）
の設立

〔第2稿 P 32〕 29

5.2.4 水質

琵琶湖・淀川流域
水質管理協議会（仮称）の取り組み

- 水質目標の設定
- 情報共有の強化
- 住民との連携強化
- 水質事故防止・対処の強化
- 行動計画とフォローアップ

〔第2稿 P 33〕 30

5.2.4 水質

既設の選択取水設備の継続実施と、より効率的な操作方法等を検討

検討

中層取水の場合

模式図

分画フェンス

上流

一庫ダム

平成14年7月撮影 田尻川

[[第2稿 P33]] 31

5.2.4 水質

既設の深層曝気設備の継続実施と、より効率的な運転方法等を検討

検討

深層曝気設備

システム

平成7年3月撮影 一庫ダム湖

[[第2稿 P33]] 32

5.2.4 水質

一庫ダム湖の水質

実施

アオコ発生状況(田尻川)

	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	
アオコ																					
淡水赤潮																					
異臭味障害																					
る過障害																					

平成14年7月撮影

[[第2稿 P34]] 33

5.2.4 水質

底質調査の継続実施と改善対策等の検討

検討

具体的調査手法(検討フロー)

底質調査結果の蓄積

底質改善必要性の判断

底質改善対策の検討・浚渫等の検討

底質改善対策の実施

事後モニタリング

底泥の採取

分析試料の作成

試験室における分析

[[第2稿 P34]] 34

河川整備の方針 4章 河川環境

4.2 河川環境

モニタリング・評価・フィードバック

4.2.1 河川形状 → 横断方向・縦断方向の連続性の修復

4.2.2 水位 → 生物に配慮した水位操作の運用

4.2.3 水量 → 自然流況に近い流量への運用

4.2.4 水質 → 水質・底質・水温の改善対策

4.2.5 土砂 → 土砂移動の連続性の確保

4.2.6 生態系 → 生態環境の保全・再生、外来種対策

4.2.7 景観 → 景観の調和、ダム湖の裸地対策

4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工 → 生物に配慮した工事施工

は、猪名川に関するもの

[[第2稿 P20]] 35

5.2.5 土砂

土砂移動の連続性の確保

検討

貯砂ダム

貯砂ダム

堆砂

堆砂

ダム湖

ダンプ運搬

ダンプ運搬

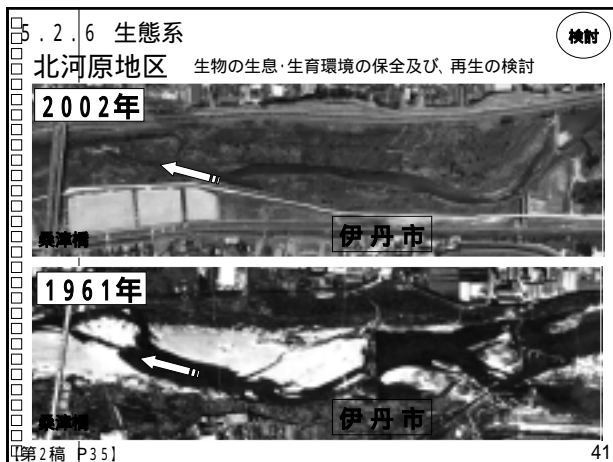
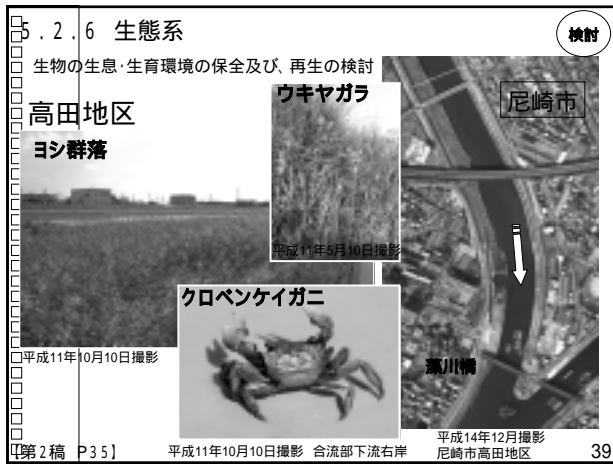
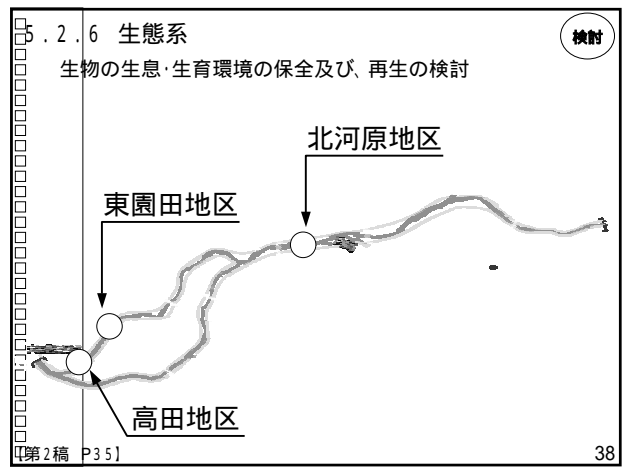
[[第2稿 P34]] 36

河川整備の方針 4章 河川環境

□ は、猪名川に関するもの


4.2 河川環境	モニタリング・評価・フィードバック
4.2.1 河川形状	横断方向・縦断方向の連続性の修復
4.2.2 水位	生物に配慮した水位操作の運用
4.2.3 水量	自然流況に近い流量への運用
4.2.4 水質	水質・底質・水温の改善対策
4.2.5 土砂	土砂移動の連続性の確保
4.2.6 生態系	生態環境の保全・再生、外来種対策
4.2.7 景観	景観の調和、ダム湖の裸地対策
4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工	生物に配慮した工事施工

【第2稿 P20】 37




5.2.6 生態系
外来種の対策を促進

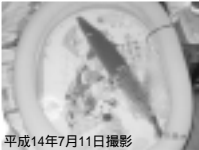
検討



ブラックバス



ネズミムギ(イネ科)



平成14年7月11日撮影

河川における外来種数の占める割合(%) (植物)
(国土交通省の直轄河川109水系)

河川	割合(%)
H7 庄内川	7.5
H8 銚路川	9.2
H7 姫川	9.5
H6 十勝川	26.1
H7 鶴見川	30.3
H11 猪名川	31.7

割合が低い河川 割合が高い河川

平成6~11年度河川水辺の国勢調査結果より

〔第2稿 P36〕 43

5.2.6 生態系
外来種の対策を促進

検討

関係機関、地域住民等と連携

条例制定に向けた調整・協議

広報・啓発

予防措置

すでに侵入した外来種への対応

調査・研究

〔第2稿 P36〕 44

河川整備の方針 4章 河川環境

4.2 河川環境

モニタリング・評価・フィードバック

4.2.1 河川形状 → 横断方向・縦断方向の連続性の修復

4.2.2 水位 → 生物に配慮した水位操作の運用

4.2.3 水量 → 自然流況に近い流量への運用

4.2.4 水質 → 水質・底質・水温の改善対策

4.2.5 土砂 → 土砂移動の連続性の確保

4.2.6 生態系 → 生態環境の保全・再生、外来種対策

4.2.7 景観 → 景観の調和、ダム湖の裸地対策

4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工 → 生物に配慮した工事施工

〔第2稿 P20〕 45

5.2.7 景観
ダム湖貯水池の法面の裸地化対策

検討

一庫ダム湖

高山ダムでの緑化試験施工の状況

施工範囲

着手前

平成14年6月撮影

制限水位へ移行後、約1ヶ月が経過

平成14年7月撮影

(平成14年7月現在)

〔第2稿 P36〕 46

河川整備の方針 4章 河川環境

4.2 河川環境

モニタリング・評価・フィードバック

4.2.1 河川形状 → 横断方向・縦断方向の連続性の修復

4.2.2 水位 → 生物に配慮した水位操作の運用

4.2.3 水量 → 自然流況に近い流量への運用

4.2.4 水質 → 水質・底質・水温の改善対策

4.2.5 土砂 → 土砂移動の連続性の確保

4.2.6 生態系 → 生態環境の保全・再生、外来種対策

4.2.7 景観 → 景観の調和、ダム湖の裸地対策

4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工 → 生物に配慮した工事施工

〔第2稿 P21〕 47

5.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工

実施

外来種を持ち込む危険性があることから、土シート設置

淀川鶴殿地区

排出ガス対策型建設機械使用の義務付

淀川鶴殿地区

〔第2稿 P36〕 48